イキイキ健活！
プラス1
生活に1つ加える健康習慣
敦賀市公認キャラクター「ツヌガ君」

はぴふる通信 VOL.77

高齢者など　インフルエンザ・新型コロナウイルスワクチン接種を実施します

新型コロナウイルスワクチン接種は、令和６年３月末まで予防接種法の臨時接種として全年齢を対象に公費負担で接種を実施していましたが、令和６年度からは高齢者季節性インフルエンザと同様に「定期接種」の位置づけとなり、以下のとおり**対象者、接種期間・回数、接種費用、接種方法を変更して実施**します。

〈令和６年度インフルエンザ・新型コロナウイルスワクチン定期接種の概要〉

◆対象者　：①65歳以上の市民
　②60歳以上65歳未満で心臓、腎臓、呼吸器、免疫機能に身体障がい者１級程度以上の障がいがある市民
◆案内通知　：対象者①②の方に対し、９月下旬に発送（両ワクチンの案内は１つの封筒で一緒に発送します）
　※令和６年10月１日から令和７年１月31日の間に65歳になる方で接種を希望する場合は、誕生日以降に予診票をお渡ししますので、健康推進課にお申し出ください。
◆接種期間・回数：令和６年10月１日㈫から令和７年１月31日㈮までに、各ワクチン　１回
◆接種費用　：インフルエンザワクチン1,900円　新型コロナウイルスワクチン3,600円
　※生活保護受給者の方は、無料です。
◆接種方法　：案内通知に記載の指定医療機関で接種
　※指定医療機関によっては予約が必要なため、案内通知で確認ください。
　※予約が必要な場合、インフルエンザ、新型コロナウイルスワクチン接種ともに**接種する医療機関へ直接お問い合わせ**ください。

インフルエンザ予防接種
新型コロナウイルス感染症予防接種
ご案内
プラス1
敦賀市福祉保健部　健康推進課

▶案内通知（黄緑色）

定期接種対象外の方

定期接種の対象者に該当しない方や、対象者であっても定期接種の期間外に接種を希望する方は、「任意接種」として全額自己負担にて接種可能です。

接種の実施状況や接種費用などは医療機関により異なりますので、医療機関へお問い合わせください。

秋から冬は感染症が流行しやすい季節、感染予防を心掛けましょう！

（一社）敦賀市医師会の先生に聞いてみました

くまがい内科クリニック
熊谷（くまがい）将史（まさし）先生

感染症はどうやって人に感染するんですか？

人にうつる（感染する）には、飛沫感染、接触感染が主体となります。飛沫感染とは、くしゃみやせきによって排出されたウイルスが口や鼻から入り込むことです。接触感染とは、ウイルスがついた手や衣服などが目や鼻、口などに触れることで、ウイルスが入り込むことです。

また、新型コロナウイルスではエアロゾル感染が確認されています。エアロゾル感染とは、空気中にただよったウイルスを含んだ微小粒子（エアロゾル）が口、鼻などから入り込むことです。

感染を予防するにはどうしたらいいですか？

手洗い、うがい、アルコール消毒、マスクの着用、体調が悪い際は外出を控えるなどが有効です。

また、規定された対象者の新型コロナウイルスワクチン定期接種が今秋より開始されます。感染の予防と、感染した場合の重症化の予防効果がありますので接種を推奨いたします。

問い合わせ先　健康推進課　☎２５－５３１１

人道の港
敦賀ムゼウム

企画展
「ワルシャワ。灰の中から甦る不死鳥」
令和6年11月3日（日・祝）～令和7年2月24日（月）

▲ムゼウム HP 参照

戦争被害から、不死鳥のように立ち上がったポーランドの首都ワルシャワ

1939（昭和14）年９月１日、ドイツによるポーランド侵攻から始まった第二次世界大戦。

ナチス・ドイツの政策によるポーランド人への迫害、虐殺、拷問…。そのような状況において、ついにポーランド人たちは立ち上がりました。1944（昭和19）年８月１日17時、ポーランドの首都ワルシャワで蜂起が決行されたのです（ワルシャワ蜂起）。武器が不足し、連合国の支援もほとんどない圧倒的に不利な中、ドイツの占領軍に対し、女性や若者を含む蜂起軍が勇敢に立ち向かっていきました。ヒトラーは、蜂起軍の弾圧とワルシャワの徹底破壊を命じ、多くのワルシャワ市民が絶滅計画の犠牲となり、処刑されました。それでも、蜂起軍は熱い想いを胸に、最後までドイツ軍と戦うことをやめませんでした。

しかし、同年10月２日、蜂起軍は降伏。63日に及んだ決死の抵抗は、無惨な結果に終わります。ポーランド人の犠牲者は15万人にのぼるともいわれ、美しかったワルシャワの街はドイツ軍により破壊し尽くされました。そして、1945（昭和20）年、第２次世界大戦が終結したのです。

1944年
ワルシャワ
蜂起
WARSAW RISING
1944
▲写真：ワルシャワ蜂起博物館所蔵

廃墟と化したワルシャワですが、戦後、ポーランド人たちによって、戦前の写真や絵などを参考に旧市街が忠実に復元され、現在「ワルシャワ歴史地区」として世界遺産に登録されています。

この企画展は、忘れてはならない戦争の歴史とともに、廃墟から立ち上がり、近代的でダイナミックな都市となったワルシャワの「復興」がテーマとなっています。ワルシャワが不死鳥のように甦っていく姿を映し出す映像も必見です。

主催
- ■ ワルシャワ蜂起博物館（ポーランド共和国）
- ■ ワルシャワ市
- ■ アダム・ミツキェヴィチ・インスティチュート

協力
- ■ ポーランド広報文化センター
- ■ ポーランド共和国外務省

11月３日は、ムゼウムリニューアルオープン記念日！

当日は入館料無料
（19時まで開館延長）

- ■ 福井大学国際地域学部実習生による館内ガイド
（常設展示エリア）　10:30～
- ■ 敦賀高校創生部によるポーランドのドーナツ「ポンチキ」販売　10:00～（なくなり次第終了）
- ■ 先着100人にガチャガチャ１回プレゼント
（小学生以下）
- ■ ポーランドの子ども用くつ下販売
（数とサイズに限りがあります。）

PACZKI
ポンチキ
◀「ポンチキ」販売

関連イベント

**11月2日（土）11時～
ポーランドと敦賀の子どもたちによるアートイベント
『描くよろこびは国境を越えて』**

大きな橋の半分を敦賀の子どもたちが、そしてもう半分をポーランドにいる子どもたちが描き、ひとつの大きな橋を完成させて、完成した橋の絵を両国に展示するプロジェクトです。当日は、どなたでも参加できます（参加者はガチャガチャができます）。

また、昨年敦賀とリトアニアの子どもたちが完成させた絵が、「命のビザ」が発給されたリトアニアの「杉原記念館」に展示され、敦賀に帰ってきました。こちらもぜひご覧ください。

**11月23日（土・祝）・24日（日）
気鋭のポーランド人監督が制作した
映画『遥かなる日本へ』上映会**

敦賀に上陸したポーランド孤児の史実をはじめ、これまでの多岐にわたる日本とポーランドの歴史的関係について、多方面から評価を得ているドキュメンタリー映画の上映会を開催します。映画終了後、監督ラドスワフ・ティシュキェヴィッチ氏のトークショー（日本語）もあります。なお、両日は「関西文化の日」事業のため、入館料無料です。

▼23日　①10時～
▼24日　①10時～　②14時～

▲ムゼウムちゃん

問い合わせ先　人道の港 敦賀ムゼウム　☎３７－１０３５